

●○○駅ご利用のみなさん、ご通行中のみなさんこんにちは。日本共産党です。いつも日本共産党にあたたかいご支援、お力添えをお寄せ頂きまして、ありがとうございます。(私は日本共産党元大阪府会議員の岸上しずきです。)今年夏に参議院選挙が行われます。7月4日公示、7月21日投票です。暮らしを守ろう、ムダ使いはやめさせよう、平和・民主主義を守ろう、そのみなさんの声を日本共産党に託していただきまして、参議院大阪選挙区はつつみコータロー、政党名を選ぶ比例代表は日本共産党と、どうぞご支援頂きますようよろしくおねがい致します。

今マスコミは連日アベノミクス、安倍内閣の経済対策をほめそやしています。株価が上がり、円安が進んで、まるで景気がよくなったかのような報道さえされています。株価が上がってユニクロの柳井社長は4000億円、ソフトバンクの孫社長は3800億円も資産が増えたそうです。しかし、みなさんの暮らしがこのアベノミクスで果たしてよくなっているのでしょうか。さっぱり実感がない、景気がよくなったなんてどこの話か、とお思いの方が多いのではないのでしょうか。それもそのはず、アベノミクスの3本の矢は一部の大企業や大金持ちには恩恵をもたらしても、国民や中小企業には大変な犠牲を押しつけるものとなっているからです。そして、安倍首相は隠して、今は語らないのですが、この3本の矢は消費税の増税と、社会保障の改悪という2本の矢とセットになっていて、5本の毒矢となって国民に襲いかかってきています。

日本共産党は、こんなアベノミクスの暴走を許さず、消費税の増税を中止し、国民の仕事と所得を増やす、本格的な景気回復を進める提言を発表しています。国民の所得が増えてこそデフレ不況の打開の道が開けます。アベノミクスはこの動きとは全く逆に、国民の消費と所得を減らす全く危険な政策です。参議院選挙では、アベノミクス・ノー、4本柱でデフレ不況打開策を提案している日本共産党を大きく、前進・躍進させて頂いて、国民本位の本当の景気回復を実現しましょう。

アベノミクスの1本目の矢、金融緩和で供給されたお金は、賃上げや設備投資にはさっぱり回っていません。投機とバブルの危険が強まっています。投機マネーが暴れ回って、電気、ガスなどの公共料金、ガソリン、灯油、食

料品とどんどん値上がりしています。給料が上がらない、年金は下がる、そのとき物価だけが上がれば、暮らしはますます悪くなるばかりです。

2本目の矢、財政政策は借金頼みの大型公共事業の復活です。これでは財政危機はもっとひどくなってしまいます。

3本目の矢、成長戦略・規制緩和では、財界は今がチャンスとばかりに、正社員の解雇をもっと自由に、サラリーマンの残業代をゼロになど、全く身勝手な要求を押し通し、雇用ルールをもっと弱体化させようとしています。こんな3本の矢に加えて、来年4月から消費税を8%に、再来年の10月からは10%への引き上げが待ちかまえています。さらに年金、医療、介護保険など社会保障の大改悪です。こんな5本の毒矢では、景気回復に役立たず破綻するのはもう証明済みです。

日本共産党は、景気回復への本道を進むための4本柱での不況打開策を提案しています。まず第1は、賃上げと安定した雇用の拡大で、働く人の所得を増やすことです。大企業が貯め込んでいる360兆円もの内部留保の1%を使うだけで、その大企業の800万人の社員の給料を月1万円引き上げることができます。中小企業には支援をして、最低賃金を時給千円以上に引き上げ、非正規社員の給料も底上げすべきです。

2番目の柱は、消費税増税をきっぱり中止し、暮らしと経済の財源は消費税に頼らない別の道で確保することです。別の道とは、税金は所得や資産など能力に応じた負担原則で集めることと、国民の所得を増やす経済の立て直して財源を確保することです。

第3は、現役世代も高齢者も安心できる社会保障へと再生、充実させることです。そして第4の柱は、内需主導の健全な成長をもたらす産業政策への転換を図ることです。

こうしてこそ、国民のふところがあたたまり、景気も確実に回復し、それを長続きさせることができます。ぜひこうした国民本位の経済政策に転換させるために、参議院選挙では、大阪選挙区・たつみコータロー、比例代表は日本共産党と、ご支援くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

(1820字)